

貯留管 Q & A

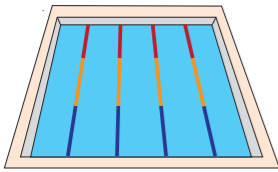
Q

貯留管にはどのくらいの雨水を貯められるの？



A

約20,000m³の雨水が貯められます。25mプールに換算すると約56杯の水がためられるよ。



※25mプールを横幅12m深さ1.2mとして計算した場合

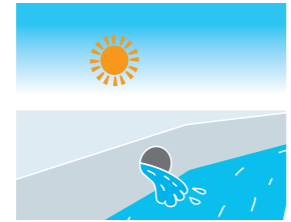
Q

貯めた水はどこに排水されるの？



A

晴天時に楠葉中央公園に設置されるポンプで天満川に排水されます。また、排水は川の水位の安全が確保されてから排水されるよ。



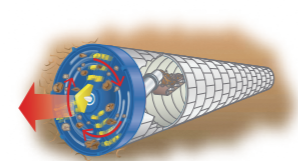
Q

どうやって貯留管は作られるの？



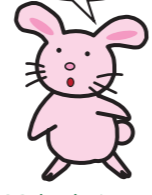
A

工事は地上への影響が少ない地中を機械で掘削するシールド工事で建設されるよ。



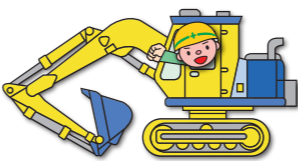
Q

貯留管はいつ完成するの？



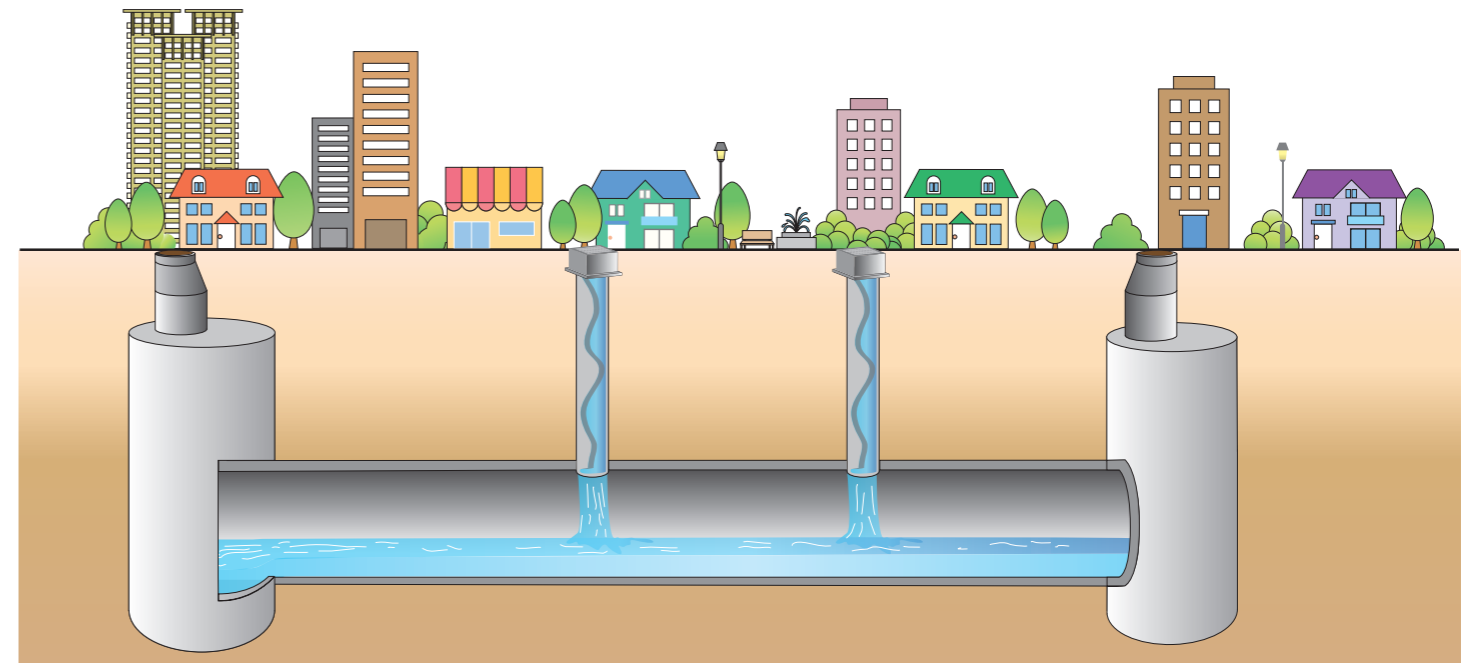
A

平成29年度から、4年をかけて平成32年度に完成するよ。



大雨からまちを守ります

下水道浸水被害軽減総合計画 (楠葉排水区)



※浸水対策の取り組みについては、枚方市のホームページからご覧になれます。
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/sinnsuitaisaku.html>

お問い合わせは

枚方市 上下水道局 上下水道事業部

郵便番号：〒573-1030

住所：枚方市中宮北町 20-3

電話番号：072-848-4199 (代表)

枚方市上下水道局ホームページ

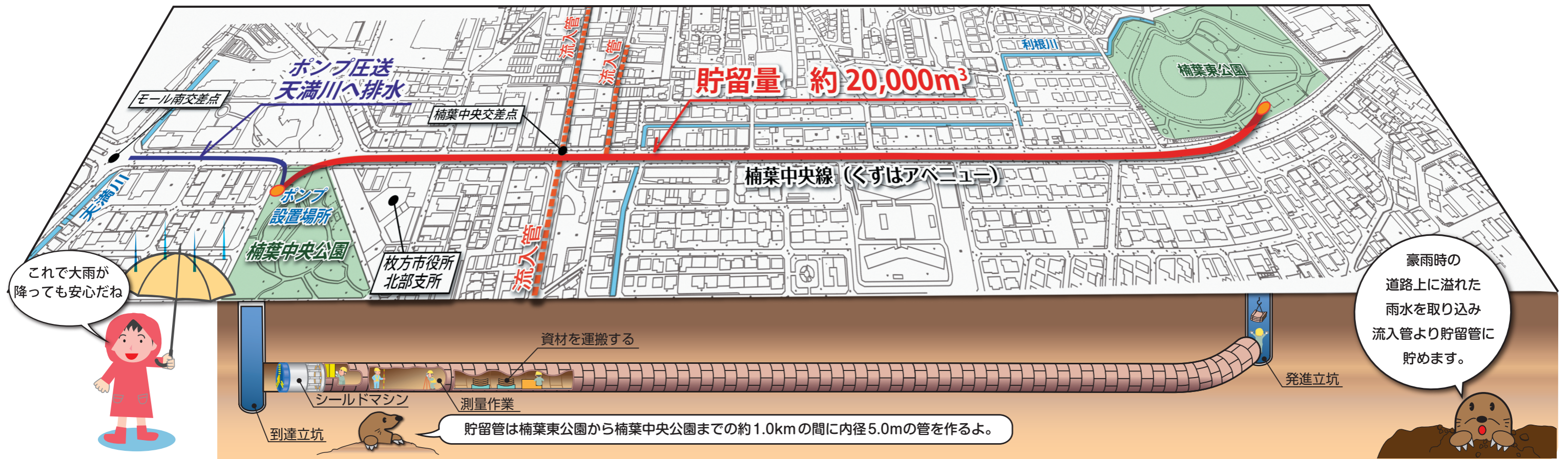
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/>

雨水を貯めてまちを
浸水から守る計画だよ



枚方市 上下水道局 上下水道事業部

事業計画のイメージ



事業計画の背景

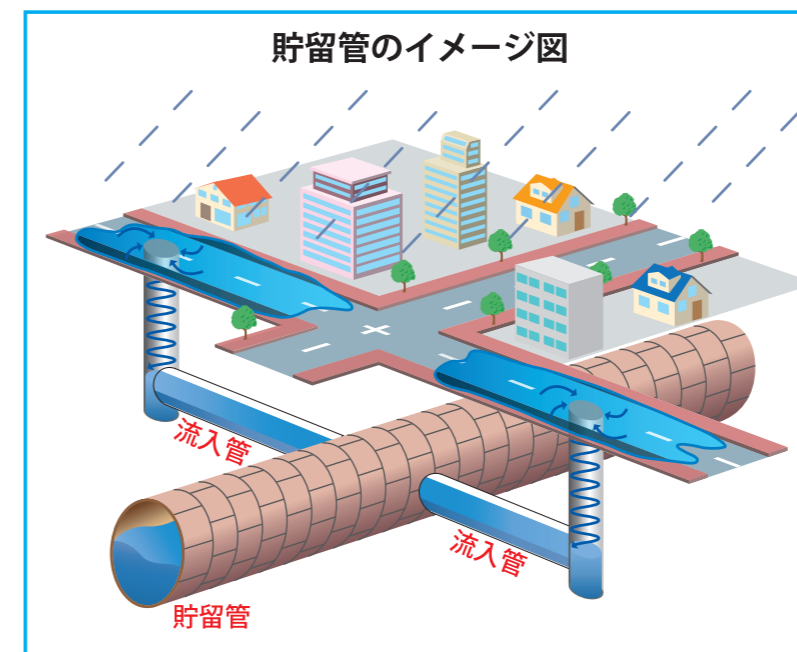
平成24年8月14日、枚方市時間最大雨量となる108.5mmの集中豪雨を記録し、楠葉地区においても時間最大雨量90.0mm(楠葉消防出張所)の集中豪雨を受け、家屋の浸水や道路冠水の被害が多数発生しました。

楠葉地区では過去にも度重なる浸水被害が発生し、このような背景から、上下水道局では浸水被害を軽減するために「下水道浸水被害軽減総合計画(楠葉排水区)」を策定しました。

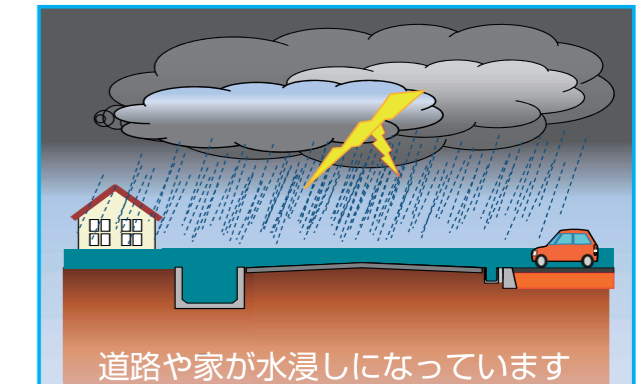


事業の効果

近年の局地的豪雨に対しては、雨水を一時的に貯留管などに貯めて雨がやんでから排水する雨水貯留施設の整備を行い、床上浸水や床下浸水などの浸水被害の軽減を図ります。



対策前



対策後

